



海士坂の送り盆（福井県指定無形民俗文化財）

広報



Contents

まちの話題	・・・ 2
町長随筆、クイズ	・・・ 4
3才で～す	・・・ 5
情報BOX、文芸	・・・ 6
すまいる	・・・ 13
シリーズ「キラリ保育」	・・・ 14
特集「ヒシ」	・・・ 16
暮らしのカレンダー	・・・ 24

10
2010
No. 66

まぐの話題

※広報紙に「あなた」の写真が写って
いましたらご連絡ください。
写真をさしあげます。
(企画情報課 TEL45-9110)



しょうらいぶね 神子の精霊舟流し (8/16)

神子集落で先祖の霊を送るお盆の伝統行事「精霊舟流し」が行われました。

この日は、早朝から青年会や子ども会を中心に十数人が竹で骨組みをし、麦わらで本体を形作り、長さ約 5m、幅約 2m の舟を完成させました。

舟には、お盆のお供え物を積み込み、施餓鬼の旗を飾りつけ、村中の人が見送り、沖合いに流されました。

精霊舟流しは、以前は遊子や小川集落でも行われていましたが、集落行事として残っているのは神子集落だけとなっています。



▲精霊舟を見送る神子集落の区民



海士坂の送り盆 (8/20)

海士坂集落でカヤや竹で作った十字型の塔を燃やして先祖の霊を供養する「送り盆」の行事が行われました。

この行事は、県内や近県に類似の例がないとして、昨年 3 月に県の無形民俗文化財に指定。

夜 9 時ごろ、区長が高さ約 5m の塔に点火。燃え盛る炎を取り囲み、読経や太鼓囃子で先祖の霊を送りました。

参加した住民は「先祖の霊を無事送れた」、「今年の火は盛大で良かった」などと話していました。



▲燃え盛る炎の横で太鼓囃子を奉納



三宅地区鮎つかみ (8/22)

北川の井ノ口橋上流で、「三宅地区親子魚つかみ大会」が開かれました。

この催しは、川に親しみ、川の恵みを知ってもらおうと、若狭河川漁業協同組合の協力のもと、三宅公民館などが今回初めて開催。三宅小学校 1 ～ 3 年生とその保護者約 50 人が参加しました。

主催者が囲いを作った川にアユを放すと児童らは手づかみで魚とりに挑戦。初めて魚つかみを体験した児童は「来年もまた参加したい」と話し、大会を主催した公民館長は「恵まれた自然を満喫してもらえて良かった」と話していました。



▲上手に魚をつかむ児童



ジュニアが全国表彰

若狭町ジュニアリーダーズクラブが（社）全国子ども会連合会の全国表彰を受けました。子どもたちの健全育成活動が他の模範とされ、全国で1団体が表彰されたもの。

このクラブは、昭和44年に三方町ジュニアリーダーズクラブとして発足。以来、高槻市や吹田市との交流事業をはじめ、様々な行事にボランティアで協力するなど、子どもたちのお兄さんお姉さん役として活躍してきました。

現在のメンバーは、中学生26人、高校生12人。

今年のチャレンジワークでも、参加した小学生を、励まし、いたわり、リーダーぶりを発揮していました。



▲全国表彰を喜ぶジュニアリーダーのメンバー



▲小型消防ポンプの操作訓練をする参加者
熊川区に整備された小型消防ポンプや防災資機材は、宝くじの売り上げ金を財源とした「コミュニティ助成事業」で購入したものです。



助け合って守ろう！（8/29）

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている熊川宿で「熊川宿自主防災デー」と題して防災訓練が行われました。

区民が会員となった熊川区自主防災会が昨年に続き実施したもので、区民約80人が参加。

訓練ではこのほど配備された「小型消防ポンプ」や水道の蛇口に接続して使用できる消火装置「街かど消火栓」などの使い方を学びました。

自主防災会の中尾会長は「ポンプや消火栓は誰もが使えるようにしておいて、災害が起きたときは助け合うことが大切」と話していました。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。
宝くじは、広く社会に
使われていきます。



スッポン料理を名物に（9/10）

海山の観光事業者らが参加して、観光ホテル水月花で「スッポン料理」の講習会が開かれました。

スッポン料理は、9月から同地区の2軒の宿で始まっていますが、提供店の拡大を図るため、同地区の観光組合が講習会を企画。

スッポン料理は、美容と健康に効果があるとされ、女性やお年寄りを呼び込む町の新たな観光素材として期待されています。

また、調理されるスッポンは、海土坂の休耕田を利用して養殖されているもので、地元の新鮮な素材を提供できるとあって品質は保証つき。

講習参加者は、「これから鍋のシーズンに入るが、ふぐ、カニに加え、新たな名物で県内外からお客様を呼び込みたい」と話していました。



▲スッポンをさばく参加者



きずな

絆

～対話と実行～

若狭町長 森下 裕

「福井梅を基軸に特産品PR」

今年の夏は、過去113年で最も暑い夏となり、体調管理には苦労されたのではないのでしょうか？

梅干しは、皆さんもご存知のとおり、暑い時期の熱中症対策として重宝されるほか、クエン酸も豊富で疲労回復にも効果があります。

若狭町の梅の生産量は、福井県の約8割を占め、日本海側最大の梅産地です。福井梅は、種が小さく果肉が厚いのが特徴で、皇室への献上をはじめ、大本山永平寺御用達として、また、大相撲優勝力士へ贈呈している梅として全国でも高く評価されています。

今年4月、町では機構改革を行い、産業課内に特産振興販

売室を設置しました。そこで、特産品の中でもブランドとして確立されている梅を基軸に町の特産品をPRしていきたいと事業展開しています。

5月には、農家や県、町、JAなどの関係者で構成する「若狭町梅振興連絡協議会」が発足し、アイデアを出し合い梅振興事業に取り組んでいます。

また、クールビズの時期に合わせ、町やJA職員らが福井梅のロゴ入りポロシャツを着用し、歩く広告塔として町内外でPRをしたり、青梅の出荷時期にも産地を広く宣伝しようと「青梅まつり」を開催し、梅製品の販売や振舞い、観光客の前で皇室献上用の梅の選別を行いました。

特に、今年の初出荷時には地元の保育園児らが梅に見立てた赤（梅干）・青（青梅）の風船を飛ばすなどのセレモ

ニーを開き、収穫の忙しい時期にあえてイベントを組むことで産地全体の連携を強めることもできました。

また、8月には全国中学校剣道大会に出場した三方中学校剣道部のみなさんに、「白干し梅を食べて白星を挙げてほしい」との願いをこめて白干し梅を贈りました。

しかし、特産品振興には課題も多く、後継者問題では「人材確保と育成」が重要であると考えています。

そこで、協議会では、生産者を対象に梅生産に関するアンケートを実施し、雇用形態を含めた経営状況や今後の意向、生産出荷体制や支援・対策に対する要望などについての声を聞きました。

それらを今後の取り組みや町の政策などに反映し、梅振興に取り組んでまいります。

広報クイズ

◇キーワード◇

■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。4つある青いマスのある文字を並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想や意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393 若狭町企画情報課」（住所は省略可）まで送ってください。E-mailでも受け付けます（kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp）。正解者の中から抽選で5人に図書カードが当たります。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

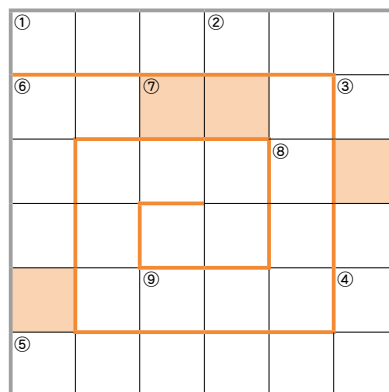
締切 10月15日（金）必着。

- ① 10月11日は、何の日？
- ② 風や花粉症の症状にこれが出ます
- ③ 海士坂の送り盆などが指定されているのは無形〇〇〇〇文化財
- ④ 苦労ばかりしていいことがないことを「骨折り損の・・・」
- ⑤ 物事のきまりがついて終わりになること
- ⑥ 交差することを英語で
- ⑦ 身体運動の総称、〇〇〇〇の秋といわれます
- ⑧ 旅行者、観光客のことを英語で
- ⑨ 冬虫夏草と書く、漢方の生薬もしくは中華料理の薬膳食材を

【ヒント】

美容と健康に効果があるとされ、美味しいダシがとれるため、鍋料理などに用いられる。海山地区の宿でこの料理が始まりました。

《答え》〇〇〇〇



9月号の答え 『べんがら』

- ①ぼうさい ②インダス ③スカート
④とうろくながし ⑤しらかば
⑥バイスクル ⑦るすばんでんわ
⑧わたし ⑨シートベルト

3歳です



このコーナーでは、10月に3歳を迎える町内にお住まいの男の子・女の子に登場していただいています。ご応募いただいた方のみ掲載しています。
今回は平成19年10月生まれの3歳になるお子さまです。



畠中 源英くん

10月1日生まれ（上野）
親：正勝・芽久美さん
歌と絵本が大好きです



種田 瑠色くん

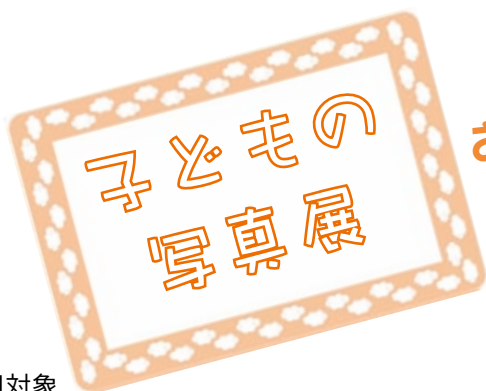
10月9日生まれ（白屋）
親：周介・友香さん
はじける笑顔で元気いっぱい☆
家族のムードメーカー♡



笠木 結菜ちゃん

10月15日生まれ（有田）
親：秀徳・容子さん
うたとダンスがだいすき♡
食べるのもだいすき♡

次回は平成19年11月生まれのお子さまが対象です。
掲載ご希望の方は、写真と25字以内のコメント、生年月日、
ご両親のお名前、連絡先を添えて企画情報課または住民
サービス室へ提出してください（E-mailでの送付も可）。
10月5日（火）必着です。
●問い合わせ 企画情報課 TEL 45-9110 E-mail: kikaku@
town.fukui-wakasa.lg.jp (E-mailの場合は受信確認のため、必ずお電
話ください。)



お子さまの写真も募集します！

子育て支援センターでは、子どもの写真展を開催します。
写真展に展示する写真を募集します。

■対象

赤ちゃんから小学校入学前のお子さま

■写真サイズなど

サービス版程度1枚（83×117mm程度）

写真の裏に集落名、氏名、ふりがな、年齢（月
齢）を記入

※氏名、年齢をつけて展示します。都合の悪
い場合はお申し出ください（写真のみ展示しま
す）。

■募集期間

10月1日（金）～随時

■応募方法

子育て支援センターへ持参または郵送

■展示期間・場所

○11月12日（金）～14日（日）は、パレ
ア若狭キッズルームで、ハート&アートフェ
スタ2010にあわせて展示します。

○11月15日（月）以降約1年間、三方保健
センター内の子育て支援センターで展示し
ます。

■応募先・問い合わせ

子育て支援センター

わかば保育園 TEL 62-1420

（〒919-1525 瓜生 37-1）

三方保健センター TEL 45-1563

（〒919-1333 中央 1-5）